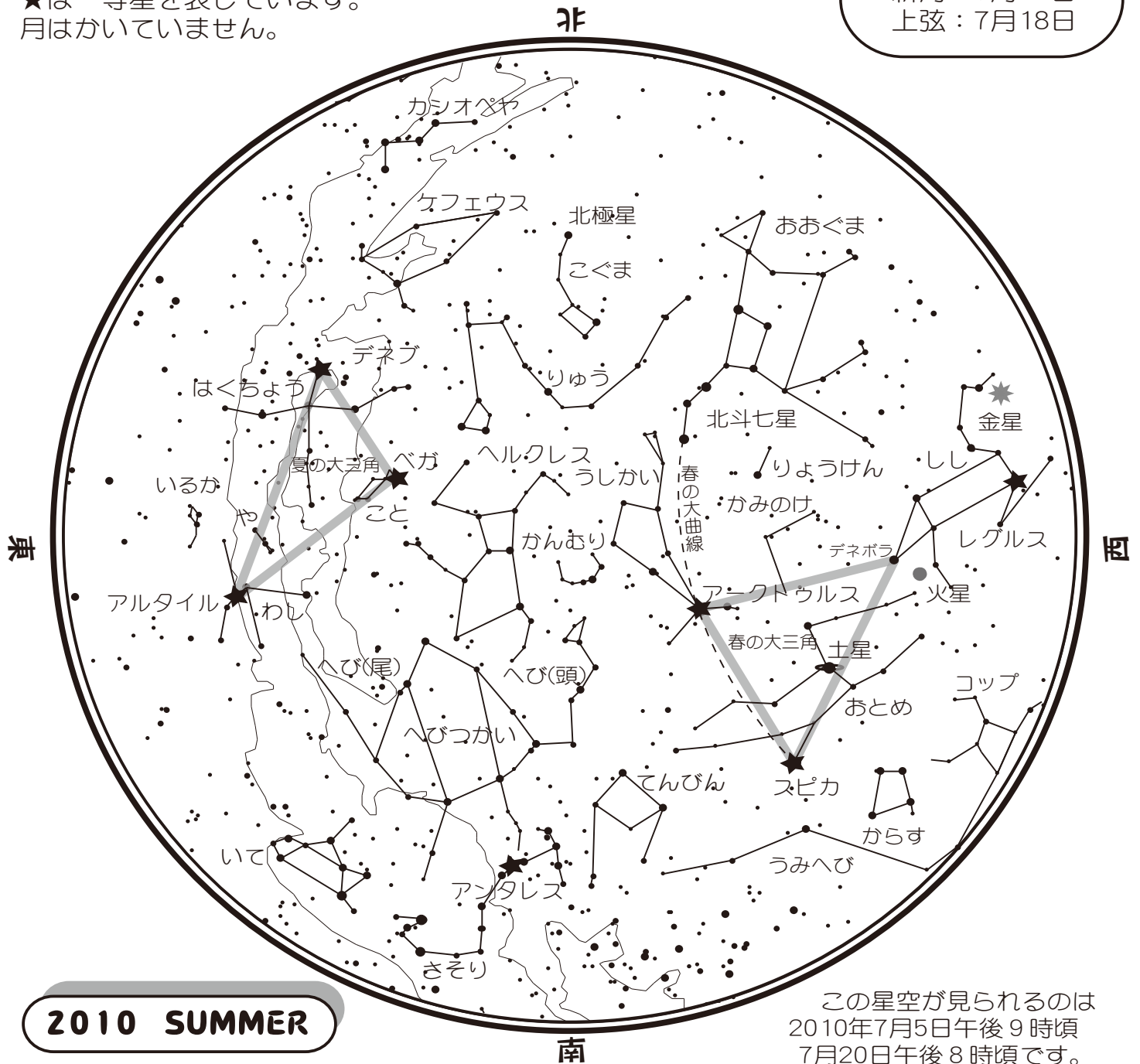


★ 姫路で見る7月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

下弦：7月4日
新月：7月12日
上弦：7月18日



2010 SUMMER

この星空が見られるのは
2010年7月5日午後9時頃
7月20日午後8時頃です。

夕暮れの西の空で一番星として輝くのは宵の明星、金星です。7月の中旬には、日没後の西の空で、地平線近くに水星、しし座のレグルス、金星、火星、土星が一直線に整列して見え、とてもにぎやかです。7月13日～16日にかけてはそこに細い月も仲間入りし、整列する星たちのそばを移動していきます。

一方の、東の空に見える夏の星座の星たちもとてもにぎやかで、街灯りの少ない暗い場所では、地平線近くに見えるさそり座から、高くのぼるはくちょう座にかけて、天の川をたどることができます。十字の星並びのはくちょう座のそばに明るく青白く輝くこと座のべがを見つけたら、それが織姫星。天の川をわたった反対岸にある明るい星がわし座のアルタイル(彦星)です。七夕の夜、2人が会えるかどうかはお天気次第ですが、短冊に書くお願いごとを考えながら、晴れた夜空で織姫星、彦星を探してみてください。